

No. 18-65 震災対応特別委員会企画 特別講演会  
～エネルギーベストミックスにおける石炭火力の役割とその可能性～

趣 旨：

2011年3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電事故以降、日本での電力供給はその約9割を火力発電に頼っています。自然災害、地球環境、資源調達など、あらゆる状況を想定し、持続可能なエネルギー供給システムを構築するためには、様々な発電方法を組み合わせたベストミックスが有効です。政府による長期エネルギー需給見通しでは、2030年の電源構成において火力発電を全体の56%に抑え、その内訳としてLNG 27%、石炭 26%、石油 3%としています。しかし、温室効果ガス削減に関するパリ協定が発効されたこともあり、石炭火力発電所の新設に逆風が吹いている現状でもあります。そこで、動力エネルギーシステム部門 震災対応特別委員会では、エネルギー資源の無い日本での電源ベストミックス、そして石炭火力からのCO<sub>2</sub>排出量削減のための技術開発状況について東京工業大学名誉教授 岡崎 健 先生、電力中央研究所 原 三郎 様を講師にお招きした講演会を、動力・エネルギー技術シンポジウム前日にシンポジウム会場の宇部市にて開催いたします。将来のエネルギー需給についての方向性、技術課題について広く意見交換したいと考えておりますので、是非ご参加ください。

開催日時： 2018年6月13日（水）14:00～16:40  
会 場： 宇部市文化会館 第1研修室  
〒755-0041 山口県宇部市朝日町8番1号

プログラム：

- 14:00 開会挨拶
- 14:10～15:10 「低炭素社会に向けた次世代石炭火力発電技術」  
講師 原 三郎（電力中央研究所）  
講演概要 石炭火力発電所からのCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みとして、高効率化技術やCO<sub>2</sub>回収技術について概説し、当所がNEDOプロジェクトとして取り組んでいるCO<sub>2</sub>回収型次世代IGCCの開発状況を紹介します。さらに、再生可能エネルギー導入拡大に対応する火力発電の調整力について解説する。
- 15:10～16:10 「多様性を基軸としたこれからのエネルギー戦略 –エネルギーに係わる歴史的経緯と今後の方向性–」  
講師 岡崎 健（東京工業大学）  
講演概要 エネルギー資源の無い日本の今後のエネルギー戦略において、エネルギーセキュリティと地球環境保全を確保するために、「多様性」を基軸とした新たなベストミックスを構築していくことが必要である。本講演では、エネルギーに係わる歴史的経緯を振り返りつつ、今後の技術革新の方向性について議論する。
- 16:10～16:40 総合討論

参加申込：

参加費無料、事前登録不要ですが、資料準備の都合上、ご参加を予定される場合、必要事項（氏名、所属、E-mail）をメールにて、担当職員上野宛（E-mail：ueno@jsme.or.jp）にお申し込み下さい。